

開発コンサルタントのための参加型開発

～現場での試み、その成功と失敗～

目 標

本研修は、以下 3 点について理解を深め、「参加型開発」の考え方を今後の業務に活かすことを目標にします。

なぜ「参加型開発」という考え方が出てきたのか。

現場で実際にどのようなことをしているのか、どのようなことで苦労しているのか。

どのようなやり方がうまく行ったり失敗したりしているのか。

内 容

- ・「地域住民のために」から「地域住民とともに」「地域住民による」そして「それぞれの開発」という開発についての考え方の変遷を辿る。
- ・対象地域の状況や対象分野、プロジェクトの特性などに合わせた「参加型開発」のあり方について考える。
- ・「参加型開発」であまりやらない方がよいこと、積極的に行うべきこと、成功事例・失敗事例などを知る。
- ・現場でいま一番工夫が必要だと思われること、いろいろ試行していることについて考える。

日 時	平成 17 年 7 月 12 日 (火) 9 時 25 分～16 時 30 分
場 所	当協会会議室 (〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1 丁目 21 番 17 号 虎ノ門 NN ビル 6 階)
定 員	20 名 定員を越えた際は、会員企業の参加希望者を優先させていただきます。 一社より複数参加の場合は、受講者の優先順位をお付けください。
対 象	「参加型開発」という言葉はよく聞かすが、いったい現場でどんなことをしているのか、「参加型開発」のためにはどんなことを頭に入れておけばよいのか等がよくわからないという開発コンサルタントの方
受講料	ECFA 会員：12,000 円 非会員：17,000 円 研修費・テキスト代・消費税込
お申込み締め切り	平成 17 年 7 月 1 日 (金) 17:00 必着
お申込み方法	受講申込用紙 ¹ にご記入の上、下記へ郵送・FAX・メールのいずれかにてお申込みください。受講者確定後、メールにて受講の可否をお知らせいたします。 お申込み用紙は当協会 Web サイト (http://www.ecfa.or.jp/japanese/act-jin.html) からダウンロードできます。 プログラムの内容や申し込み方法等、ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせください。 お申込み用紙送付先： 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1 丁目 21 番 17 号 虎ノ門 NN ビル 6 階 (社) 海外コンサルティング企業協会 人材育成担当 河野 (こうの) 宛 Email: kono@ecfa.or.jp FAX: 03-3593-1172 TEL: 03-3593-1171
受講料お支払い方法	受講者の方には、受講票および請求書を郵送致しますので、 平成 17 年 7 月 8 日 (金) までに銀行振込みにてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。但し、以下のキャンセル条件に該当する場合は全額返金いたします。
キャンセル条件	本ワークショップは、または に該当する場合、中止とさせていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせいたします。 お申込み締め切り後、申し込み人数が定員の半数に満たない場合 講師の急な予定変更 (海外出張など) が生じた場合

¹ ご提出いただいた情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理いたします。

講師紹介

合資会社 環境と開発研究所 代表 島津 英世

(社)海外コンサルティング企業協会 (ECFA) 開発研究所などを経て、1998 年より合資会社 環境と開発研究所代表。専門は参加型開発、地域・環境計画、環境影響評価、人的資源開発。近年は参加型開発などの担当としてバングラデシュ、マラウイ、ドミニカ共和国、ネパール、ケニアなどの JICA の開発調査に参加。また、短期専門家としてウガンダ (環境行政)、マレーシア (人的資源開発) に赴任。

プログラム

本研修は、ECFA オリジナルテキストを適宜利用しながら、主に講義形式で、事例紹介なども行います。

研修スケジュール (予定)

時間	概要
9:15-9:25	受付
9:25-9:30	開講あいさつ 社団法人 海外コンサルティング企業協会 専務理事 松下 弘
9:30-12:30	1. 「参加型開発」という考え方とその背景
12:30-13:30	昼食
13:30-16:30	2. 「参加型開発」の現状 ～現場で実際に試行していること、成功と失敗など～ (1) プロジェクトにおける参加型の勘違いの例 (2) 農村開発的な総合アプローチへの問題分析の適用 (3) 「期間限定・地域限定」のプロジェクトからの脱却

プログラムはやむを得ない事情等により変更することがあります。予めご了承ください。
休憩 (コーヒーブレイク) は講師から指示させていただきます。
昼食は各自でおとりください。

使用テキスト

島津 英世
『開発コンサルティング研修【実務編】Part 参加型開発』
社団法人海外コンサルティング企業協会、2004.3

本テキストは、開発コンサルタントの能力向上のために、「平成 15 年度コンサルティング手法整備事業」の一環として、開発コンサルタント及び JICA (企画・評価部)、JBIC (プロジェクト開発部) の協力を得て作成されました。

<見本>



(テキスト表紙)



(資料編)

平成 15 年度 参加者の声



研修の様子

参加型開発手法を実際に使っている人のお話を聞くことができよかったです。

「参加型開発」の背景や特徴などもわかり、大変参考になりました。今後の業務に役立てたいと思います。

「参加型開発」の現状や課題、PDM の活用などがとても参考になりました。もう少し時間をかけて学びたいと思いました。

参加者の声は研修後アンケートより抜粋しました。

平成 15 年度は半日で実施されました。

平成 15 年度の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

(<http://www.ecfa.or.jp/japanese/H15/H15act-jin.html>)